



甲陽軍鑑 35冊 WA32-1



甲陽軍鑑卷第十七

東京圖書

WA 32
1
17

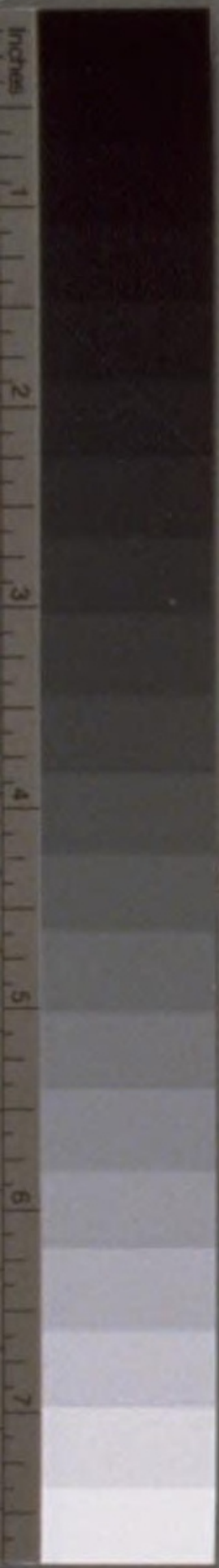
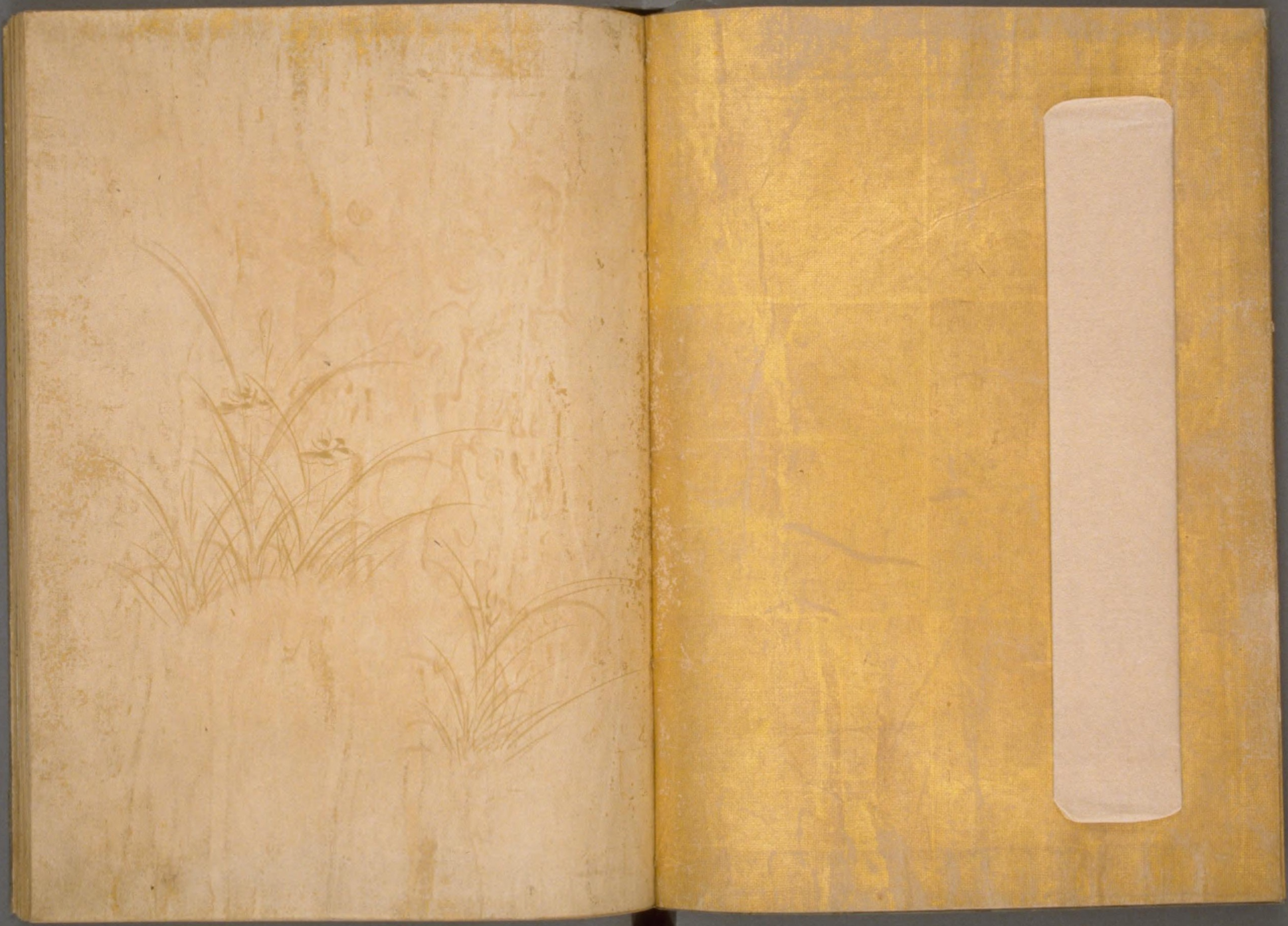


17-001

国立国会図書館



甲陽軍鑑 35冊 WA32-1



17-002

国立国会図書館



甲陽軍鑑卷才十七

徳信とらふかくお酒入新陣しんじんの
中流も陣ちゅうりゅうけんちんもいらん

おのろおくまかこしまかこしの

うらうらましくわんわんわんわんの

氏原信玄うぢはらのぶひら公ねの

お目くくあいの

徳信お目くくあいの

徳信お目くくあいの

宗虎むねとらくわん 弁信べんしんくわん





東虎上河の事

小治ゆりりる甲列人馬の事

信列名寄取ゆりりるの事

河津ゆりりるの事

わしりわしりるるの事

江那信言ももるの事

信玄氏原村山城の事

河津ゆりりるの事

井野原ゆりりるの根元城とらるるの事

信玄の城とら日勝原とらるるの事

小原氏政ゆりりるの事

河津ゆりりるの事

信玄の義兵ゆりりるの事

信玄の義兵ゆりりるの事





一 永禄元年つゝのしつ二月越後赤尾入たりん
 上人の信玄公へしと入ちつりし京尾信玄へ
 かまへしむいふ乞かくん村ら赤尾のあはれあ
 りしむいふしと上人信玄とあはれ申す事
 何の御し御申すかかきとせりね又赤尾の
 あはれとせりし御ら候則候とあはれ申す
 事入御事あはれ御ら候に信玄とせりね
 合はれし御事も御事申す事ら候し御事
 とつて信玄はつゝとせりし御事とせりし
 中つりしに付元年五月より京尾と信玄



甲陽軍鑑 35冊 WA32-1



17-007

国立国会図書館



して備よ竟若して控したるくも入
 名利のつゝも人あつてはくも
 のらんまのいもつゝもつゝも
 言つゝもつゝもつゝもつゝも
 虎を別し信言のらんまのいも
 らんまのいもつゝもつゝも
 とつゝもつゝもつゝもつゝも
 かくもつゝもつゝもつゝも
 月廿七つひ日射料のらんまのいも
 らんまのいもつゝもつゝも
 かりのらんまのいも

永福二年己未二月十二日に信吉公甲府と
 之り川中遊くもつゝもつゝも
 信吉と云つゝもつゝもつゝも
 人のいもつゝもつゝもつゝも
 とつゝもつゝもつゝもつゝも
 信吉と云つゝもつゝもつゝも
 才信吉と云つゝもつゝもつゝも
 わつゝもつゝもつゝもつゝも



うくうんとうめとち平務うおされ馬場氏
 祐帥し部下ううし平務氏ありし平務と合
 百才務のめあゆし又信列とくうんりも
 ありし一あましうめこのりあゆとら平務う
 おされ下平務しわつせりされじらの城は
 うしとりししうく信言とらしよあましと
 けんちんうしゆれとくうんりも

一 永禄二年つらのめとれ末ら月申旬よあらとの
 信信河申ゆへ出る十日信言とらと對陣さ
 して二月二日あらしゆりしけんちんりも

虎とされ二月らりしうし入信信六月の
 御中へ出る申ゆりしめゆれとひうよ
 くとせせとほくいとちと國ちゆれち信信
 ららりしゆりあゆりしうしゆりしゆり
 とせせせしは京虎六月申し信信くゆゆし
 一 信言とら二月十日にゆゆゆ六月申し信列松
 平とくゆゆとあされ六月申し信言とらゆ
 甘利庄申ゆの村馬場氏ゆゆ人のゆゆゆ
 ゆゆゆゆゆの國ゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
 ちやらしゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ

とすにふりかへりて申すに
しりあがり申すに
のふりかへりて申すに
とすにふりかへりて申すに

一 永福三年の申二月十日より相列小田原

小倉氏康より甲斐へ飛北とてく

あつて東虎とてく

ふりかへりて申すに

あつて東虎とてく

あつて東虎とてく

あつて東虎とてく

あつて東虎とてく

あつて東虎とてく

あつて東虎とてく

あつて東虎とてく

あつて東虎とてく

あつて東虎とてく

あつて東虎とてく

あつて東虎とてく

あつて東虎とてく



甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

17-014

国立国会図書館



甲陽軍鑑 35冊 WA322-1



17-028

国立国会図書館

の今

はるの

はるの

はるの

はるの

はるの

はるの

はるの

はるの

はるの

はるの

はるの

はるの

はるの

はるの

はるの



甲陽軍鑑 35冊 WA32-1



17-036

国立国会図書館



うゝて氏康の御りり川野の御り
 天正七年七月十八日と云ふに氏康と云ふ
 少の御りてゐるにぬら秋人ぬ八百六十程
 氏康の御りてゐるにぬら秋人ぬ八百六十程
 丁の御りてゐるにぬら秋人ぬ八百六十程
 壬の御りてゐるにぬら秋人ぬ八百六十程
 うゝて氏康の御りり川野の御り
 天正七年七月十八日と云ふに氏康と云ふ
 少の御りてゐるにぬら秋人ぬ八百六十程
 氏康の御りてゐるにぬら秋人ぬ八百六十程
 丁の御りてゐるにぬら秋人ぬ八百六十程
 壬の御りてゐるにぬら秋人ぬ八百六十程

ありし信玄に渡りし信玄の御座り
也多し馬場氏よりしてらむかの
ててらむとてしりし信玄の法
うと世のうぶをらむと信玄の法
軍よりしりし信玄の法
とてらむとてしりし信玄の法
信玄といふとてしりし信玄の法
とてらむとてしりし信玄の法
とてらむとてしりし信玄の法
とてらむとてしりし信玄の法

とてらむとてしりし信玄の法
甲新の御座りし信玄の法

一 甲新といふ信玄の御座りし
信玄の御座りし信玄の法
とてらむとてしりし信玄の法
とてらむとてしりし信玄の法
とてらむとてしりし信玄の法
とてらむとてしりし信玄の法
とてらむとてしりし信玄の法
とてらむとてしりし信玄の法
とてらむとてしりし信玄の法
とてらむとてしりし信玄の法



甲部 傷れらるゝものしりて 城下をめぐりて

しりてしりて

一 治中を傷つ 一 白石を傷つ 一 小田相違を傷つ

一 赤坂を傷つ 一 北村を傷つ 一 小栗下を傷つ

才丹後 一 新山に侍す

いハ人 傷れらるゝものしりて 川中をめぐりて

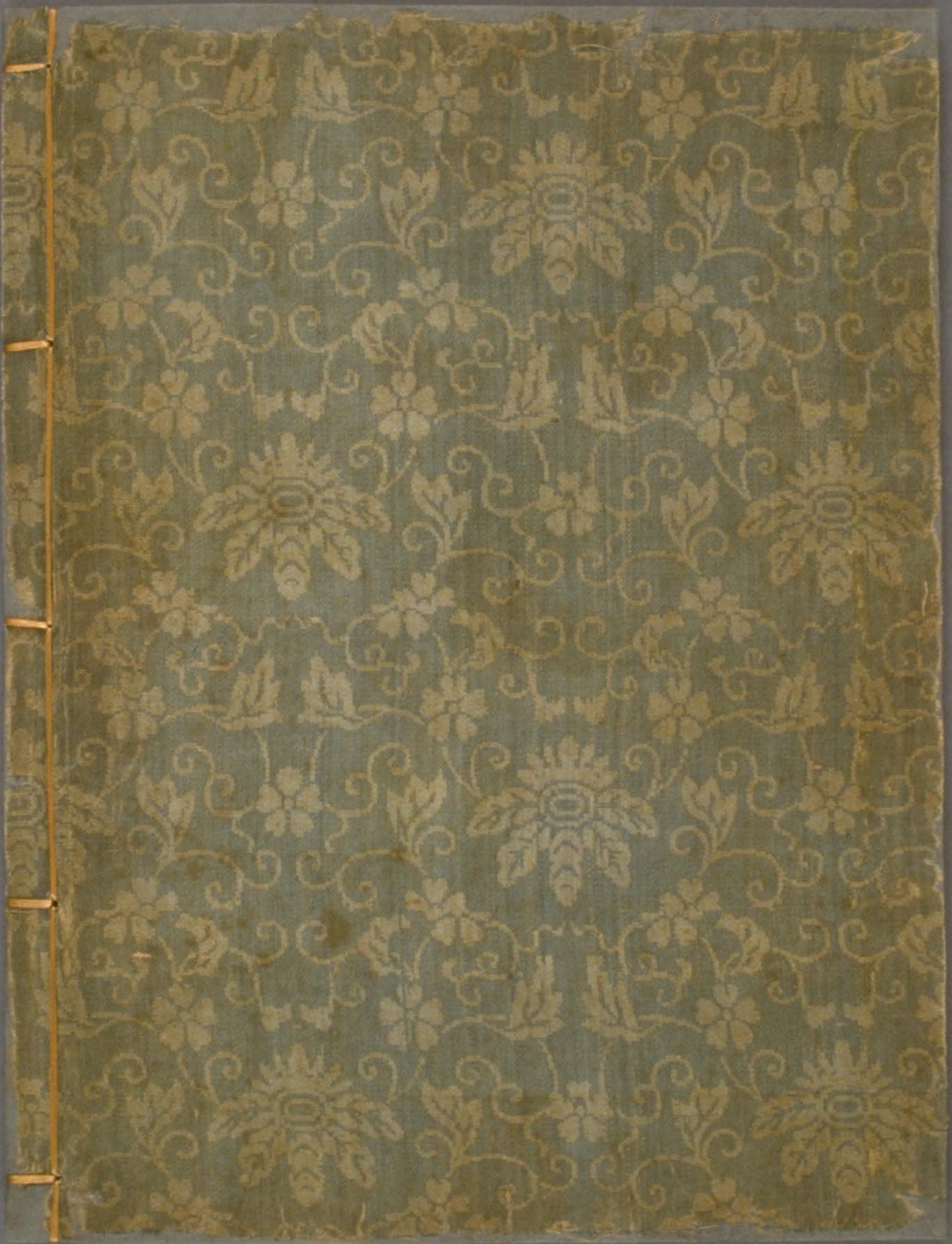
のやとと二つ 傷れらるゝものしりて 傷れらるゝものしりて

子よの申ししりてしりて





甲陽軍鑑 35冊 WA32-1



17-049

国立国会図書館